



2020年7月10日

各 位

会 社 名 ITbook ホールディングス株式会社
代 表 者 代表取締役会長兼 CEO 恩 田 饒
代表取締役社長 前 俊 守
(コード：1447、東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長兼 CFO 神谷 修司
(電話番号：03 - 6264 - 8200)

〈マザーズ〉投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○ 開催状況

開 催 日 時 : 2020年7月10日(金) 15:00 ~ 16:00

開 催 の 方 法 : 対面による実開催

開 催 場 所 : 東京証券会館9階 第8、9会議室
(東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号)

説明会資料名 : 2020年3月期 決算説明会

【添付資料】

投資家説明会において使用した資料

以上

1. 会社概要

2. 2020年3月期決算内容

連結業績の推移

(ご参考)ITbookグループの業績推移

(ご参考)サムシンググループの業績推移

セグメント実績

3. Topics

4. 2021年3月期業績予想

1. 会社概要



- ・コンサルティング事業
- ・システム開発事業
- ・人材派遣事業

- ・地盤調査改良事業
- ・保証検査事業
- ・建設テック事業
- ・海外事業

2018年10月1日 ITbook及びサムシングの共同株式移転の方法により
ITbookホールディングス株式会社 を設立
同日付 東証マザーズへ上場

社名	ITbookホールディングス株式会社
役員	代表取締役会長兼CEO 恩田 饒 代表取締役社長 前 俊守 社外取締役 佐々木 隆 常勤監査役 西山 靖(新任) 社外監査役 三谷 総雄 社外監査役 岡田 憲治
事業内容	ITコンサルティング、システム開発、システム機器販売、 地盤調査改良、地盤保証等を営む傘下子会社及びグループ会社の支配及び管理 並びにこれに付帯又は関連する業務
資本金	900百万円
設立	2018年10月1日
上場市場	東京証券取引所マザーズ(1447)
グループ会社数	連結子会社32社、子会社5社、関連子会社3社(2020年6月末現在)
従業員数	連結2,032名(2020年3月末現在)

経営理念

ICT技術を活用することにより社会インフラの効率的、
効果的付加価値の向上及び、社会貢献を目指す

(ITbookホールディングスグループ経営理念)

フィロソフィー

1. お客様第一主義で社会に貢献する
2. 夢・高い目標に挑戦する
3. 全社員の物心両面の幸福を追求する

会社概要(グループ概要)

事業セグメント紹介



ITbookグループ

サムシンググループ



新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのグループ基本方針

ステークホルダーの安全と健康を第一に

1. テレワーク・時差出勤を基本勤務体系
2. 営業活動の自粛（不要不急の訪問・出張等）
3. 手洗い・うがい・アルコール消毒・マスク着用の徹底
4. 体調のすぐれない社員への出勤停止

2. 2020年3月期 決算内容

連結損益計算書

売上高

- ・IT業界等の旺盛な人員受け入れニーズより人材派遣事業前期比増加
- ・サムシンググループの通期業績を連結

営業利益

- ・新型コロナウイルス感染拡大による事業活動の一部休止、営業活動の一部自粛等
→固定費負担等増加
→ITグローバル(株)の大幅減収(外国人材の派遣受け入れの停止)
- ・先行投資を進めている子会社7社を連結の範囲に追加

(単位:百万円)

	2019年3月期		2020年3月期	対前期	
	実績	ご参考 ※	実績	増減額	%
売上高	11,272	17,342	21,224	9,952	188.3
営業利益	65	165	155	90	239.3
経常利益	60	162	140	80	233.8
親会社に帰属する 当期純利益	△87	△79	83	170	—

※統合前のサムシングホールディングスグループの連結業績2018年4月～9月の業績を単純合算しております。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	差額	主な要因
流動資産	7,888	8,548	659	受取手形及び売掛金353 商品及び製品192、仕掛品130
固定資産	3,152	4,378	1,225	建物及び構築物234 機械装置及び運搬具254、土地556
繰延資産	1	56	55	開業費13、開発費41
資産合計	11,042	12,983	1,940	
流動負債	6,138	7,267	1,129	支払手形及び買掛金122、短期借入金119 1年内返済予定の長期借入金257、 未払法人税等181、その他549
固定負債	2,338	3,152	814	社債△169、長期借入金750、その他192
負債合計	8,477	10,420	1,943	
純資産合計	2,565	2,563	-2	利益剰余金△68、新株予約権21 非支配株主36
負債・純資産合計	11,042	12,983	1,940	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

(単位:百万円)

2020年3月期

営業活動によるCF	717
投資活動によるCF	△1,355
財務活動によるCF	587
現金同等物期首残高	2,789
現金同等物期末残高	2,917

● 主な営業活動によるキャッシュ・フロー

・税金等調整前当期純利益	322
・減価償却費	402
・のれん償却額	150
・賞与引当金の増減額(△は減少)	43
・支払利息	54
・負ののれん発生益	△177
・売上債権の増減額(△は増加)	△138
・たな卸資産の増減額(△は増加)	△116
・仕入債務の増減額(△は減少)	11
・利息の支払額	△42
・法人税等の支払額	△148

● 主な投資活動によるキャッシュ・フロー

・有形固定資産の取得による支出	△760
・無形固定資産の取得による支出	△84
・貸付けによる支出	△69
・貸付金の回収による収入	113
・連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出	△396

● 主な財務活動によるキャッシュ・フロー

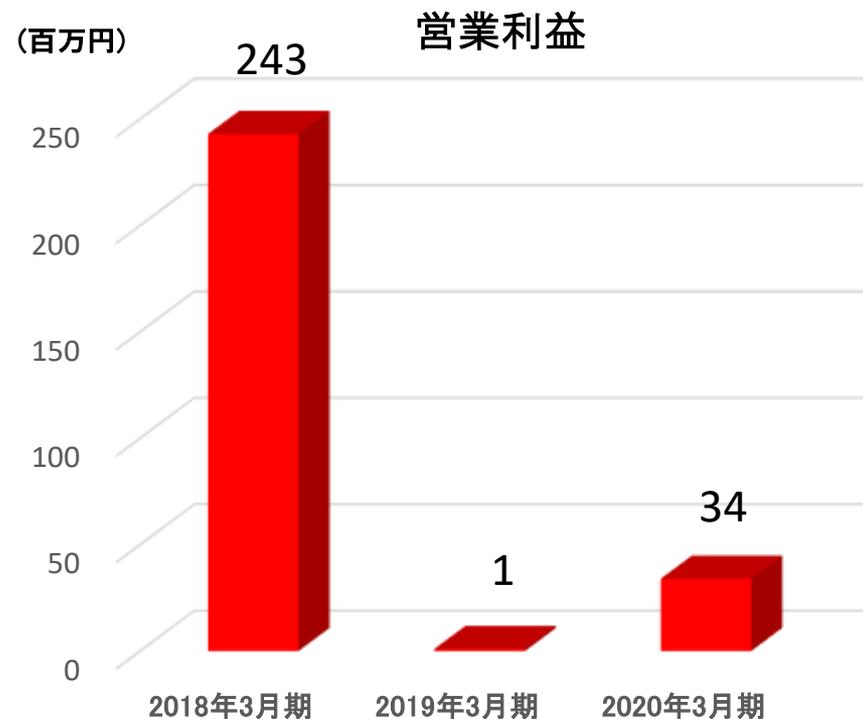
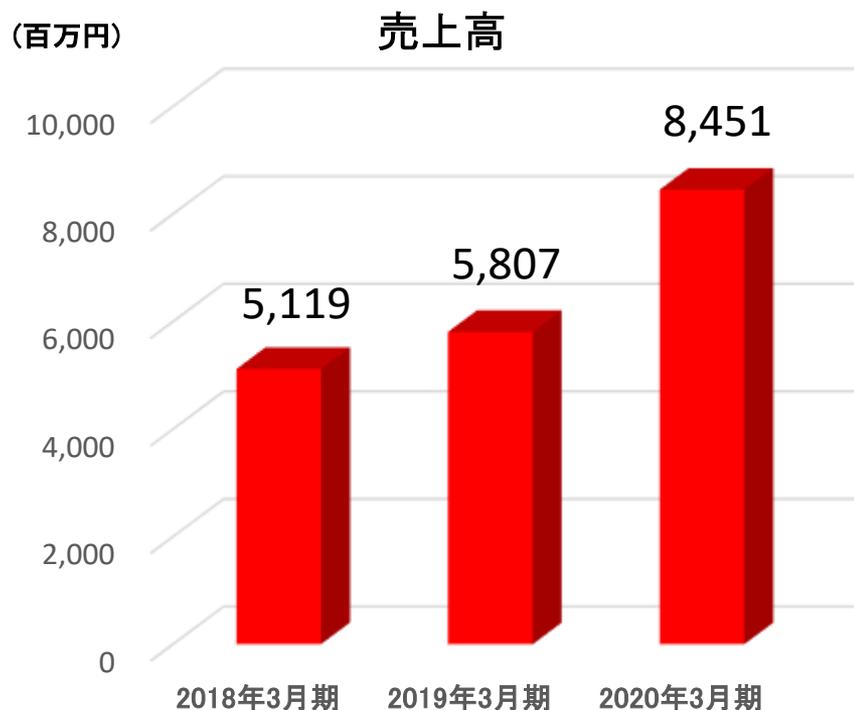
・短期借入れによる収入	1,045
・短期借入金の返済による支出	△1,019
・長期借入れによる収入	2,256
・長期借入金の返済による支出	△1,371
・ファイナンス・リース債務の返済による支出	△141

売上高

- ・ グループ全体で人員増強により受注増加
- ・ IT業界等の旺盛な人員受け入れニーズより人材派遣事業前期比増加

営業利益

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大による事業活動の一部休止、営業活動の一部自粛等
→固定費負担等増加
→ITグローバル株の大幅減収(外国人材の派遣受け入れの停止)
- ・ 先行投資を進めている子会社7社を連結の範囲に追加



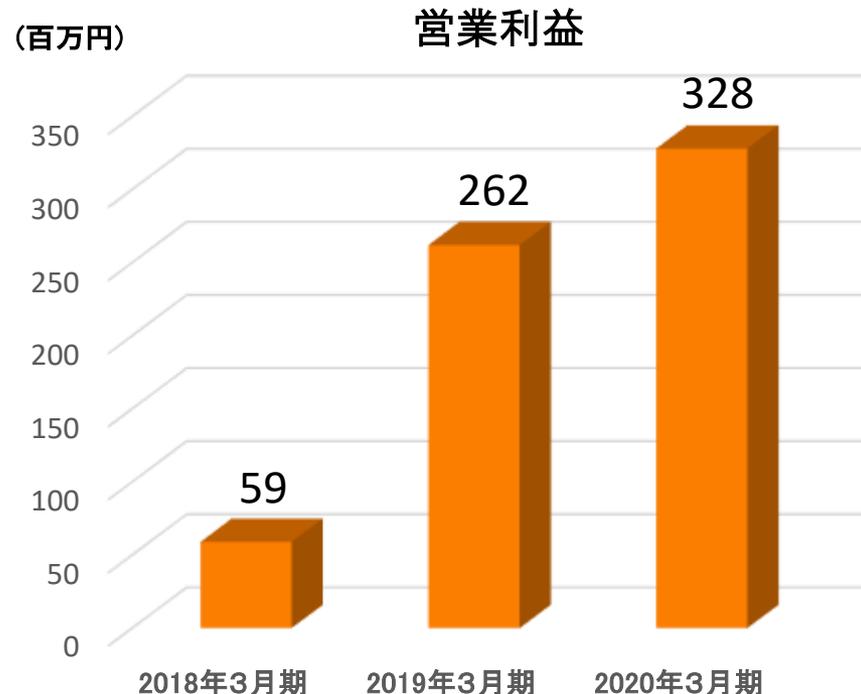
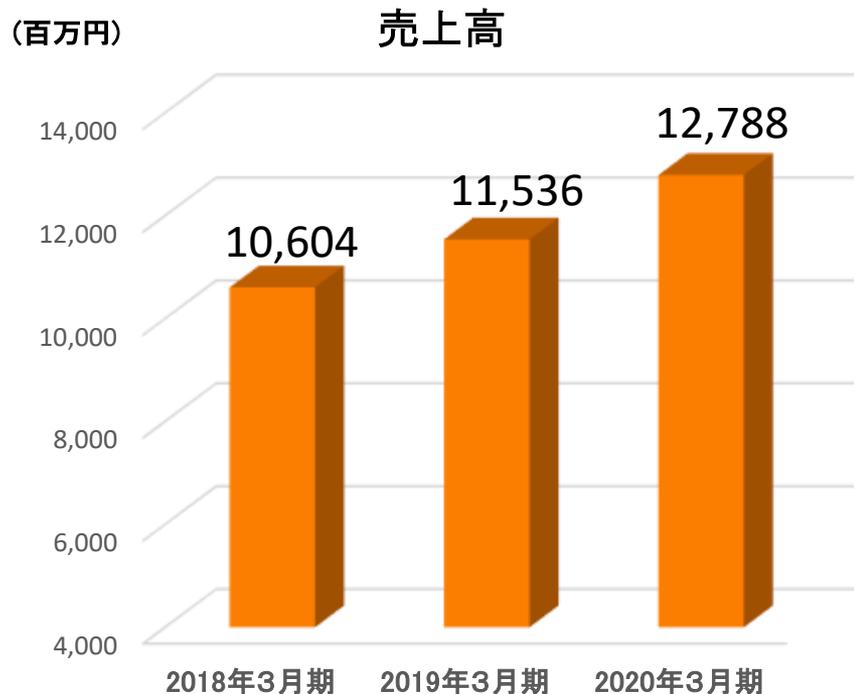
(ご参考)サムシンググループ業績推移

売上高

- ・ アースプライム子会社化による地盤関連サービスの強化
- ・ 新工法拡販、オペレーションセンター化により売上高増加

営業利益

- ・ 新工法拡販により利益面改善
- ・ 海外事業の黒字化達成
- ・ 建設テック事業において地盤関連システム堅調 利益面に貢献



※(ご参考)過去数値を3月期にて算出

連結実績(セグメント実績)

(単位:百万円)

	セグメント別売上高	2019年3月期		2020年3月期		
		売上高	構成比	売上高	構成比	増減額
ITbook グループ	コンサルティング事業	1,243	7.1%	1,450	6.8%	206
	システム開発事業	2,024	11.7%	2,392	11.3%	367
	人材派遣事業	2,534	14.6%	4,526	21.3%	1,988
	その他事業	—	—	68	0.3%	68
サムシング グループ※1	地盤調査改良事業	10,813	62.4%	11,847	55.8%	1,033
	保証検査事業	277	1.6%	282	1.3%	4
	建設テック事業	300	1.7%	391	1.8%	91
	海外事業	145	0.8%	267	1.3%	122
	計	※2 17,342	100.0%	21,224	100.0%	3,882

※1 (ご参考)2019年3月期 過去数値を3月期にて算出

2 ITbookグループとサムシンググループの数値を単純合算

(単位:百万円)

行政向けコンサルティング

- ・マイナンバーコンサルティング
- ・地方創生ソリューション

コンサルティング人材増強により
受注増

売上高 **116.6%** (前期比)

今後の見通し

- ・引き続き、行政に対しマイナンバー対応及び、地方創生ソリューションのコンサルティングを行う
- ・民間企業向けコンサルティングを強化し、売上増を見込む

コンサルティング事業			
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	1,242	1,243	1,450
セグメント 損益	74	△161	△8



(単位:百万円)

システム関連の需要は旺盛

軽減税率対応、Windows7サポート終了等

グループ各社は人員を増強

受注拡大

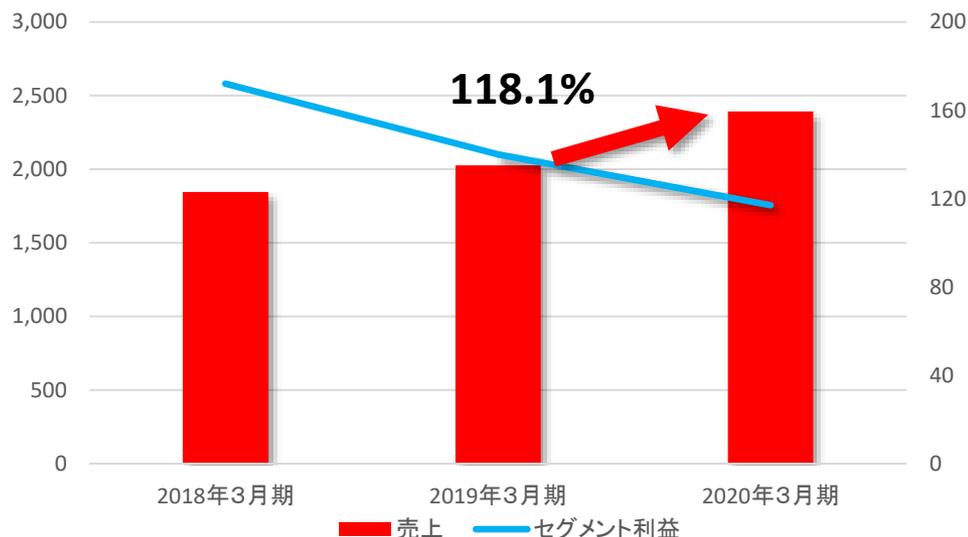
売上高 **118.1%** (前期比)

人員増加により固定費増加

今後の見通し

- ・エンジニアの採用を強化し、人員の確保・売上高増を目指しつつ、生産性効率を意識し利益面を確保する
- ・新規取引先開拓、既存取引先深耕

システム開発事業			
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	1,844	2,025	2,392
セグメント利益	172	140	117



(単位:百万円)

・製造業・流通業向け人材派遣の

売上は前期比 **116.4%**

・技術者派遣の

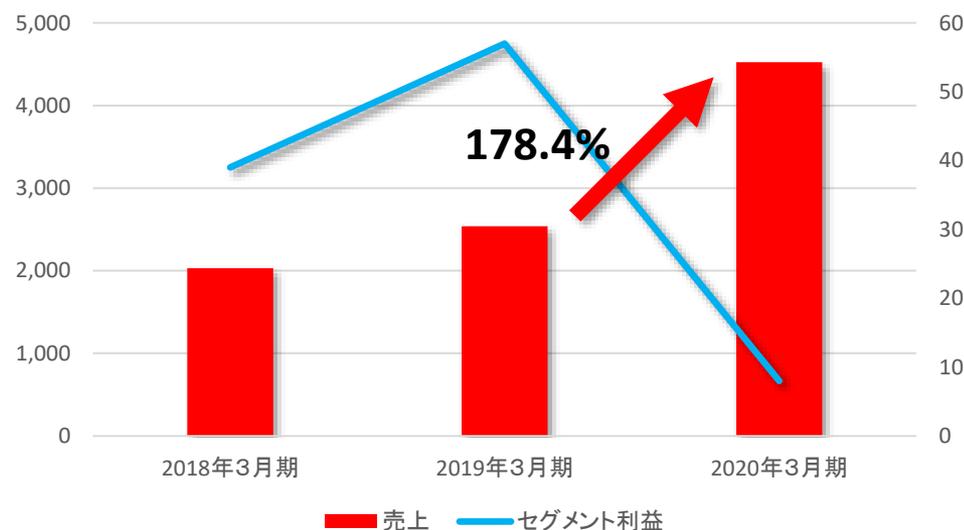
売上は前期比 **193.5%**

売上高 **178.4%** (前期比)

今後の見通し

・製造業・流通業向け・教育人材派遣の強化

人材派遣事業			
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	2,032	2,537	4,526
セグメント利益	39	57	8



(単位:百万円)

・高品質のSFP工法と

環境配慮型工法のエコジオ工法を拡販

➢ 柱状改良工法からSFP工法への切替え

売上は前期比 **336.0%**

➢ エコジオ工法

売上は前期比 **94.0%**

・大型工事へのシフト(コラムZ工法)

売上は前期比 **90.4%**

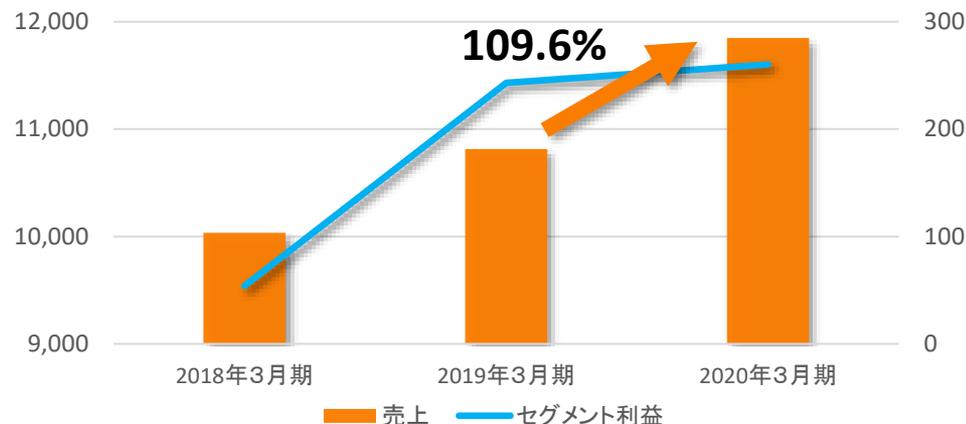
➡ 1現場当たり単価は**111.0%**

売上高 **109.6%** (前期比)

今後の見通し

- ・ 従来の柱状改良工法による地盤改良工事を、高品質のSFP工法、エコジオ工法への切り替えを全国的に推進する
- ・ 大型案件(コラムZ工法による)施工実績の増加を目指す
- ・ 国内新規出店による更なる国内シェア拡大を目指す
- ・ アースプライム社とのシナジー効果の発揮
- ・ 不動産事業:社宅代行サービス、不動産仲介を強化

地盤調査改良事業			
	2018年3月期※	2019年3月期※	2020年3月期
売上高	10,034	10,813	11,847
セグメント利益	54	243	260



※(ご参考)過去数値を3月期にて算出

(単位:百万円)

・保証売上

同業他社競争激化により減少

売上は前期比 **89.9%** →

・検査売上

リフォーム市場好調(建物検査増)

売上は前期比 **145.2%** と好調 ↗

売上高 **101.7%** (前期比)

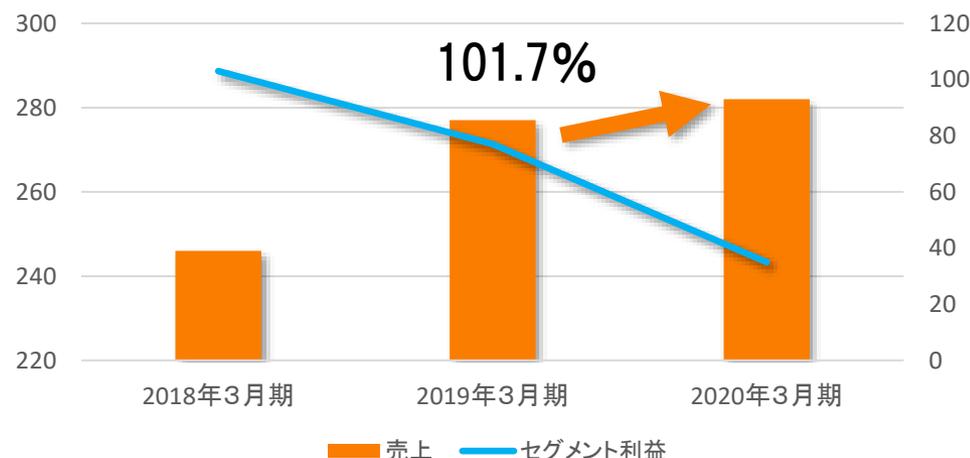
今後の見通し

・保証事業: ①認定店の増加・認定店サービスの技術力向上(顧客満足度の獲得)

②新規顧客の獲得・既存顧客への深耕(営業強化)

・検査事業: リフォーム市場の拡大に伴うサービスの拡充

保証検査事業			
	2018年3月期※	2019年3月期※	2020年3月期
売上高	246	277	282
セグメント利益	103	77	35



※(ご参考)過去数値を3月期にて算出

(単位:百万円)

・GeoWebシステム関連売上

GeoWebシステム関連売上

(GeoWeb施工、調査等)は、

売上は前期比 **112.0%** と好調

・ソフトウェア開発売上

クライアントの基幹システムと
GeoWebシステムの連携・カスタマイズ等

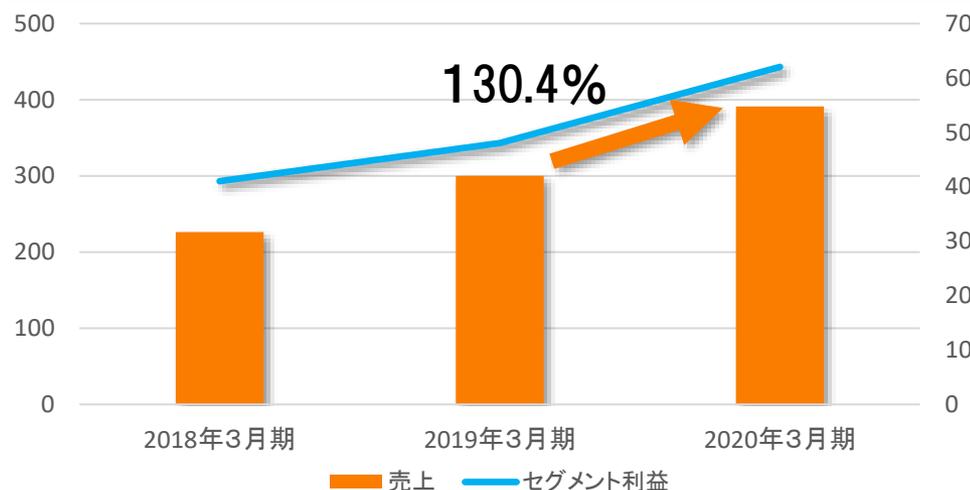
売上は前期比 **255.4%** と好調

売上高 **130.4%** (前期比)

今後の見通し

- ・GeoWebシステムとIoTの融合による新商品の投入
- ・ビッグデータの利活用による新サービスの開発

建設テック事業			
	2018年3月期※	2019年3月期※	2020年3月期
売上高	226	300	391
セグメント利益	41	48	62



※(ご参考)過去数値を3月期にて算出

(単位:百万円)

・地盤調査、地盤改良、工事案件

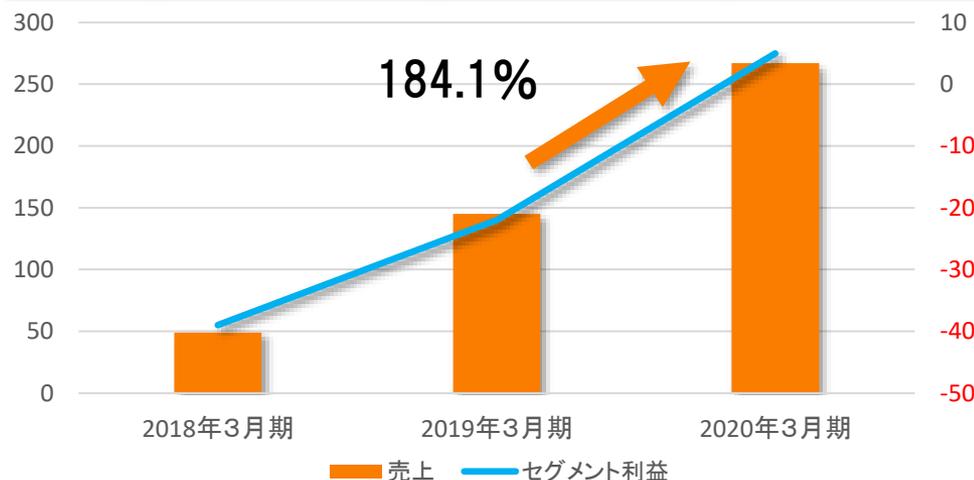
営業強化

- ①河川・堤防・防災・道路工事
- ②ローカルのゼネコン、地方自治体からの安定的な受注を確保

➡ 施工件数は伸長

売上高 **184.1%** (前期比)

海外事業事業			
	2018年3月期※	2019年3月期※	2020年3月期
売上高	49	145	267
セグメント 損益	△39	△22	5



※(ご参考)過去数値を3月期にて算出

今後の見通し

- ・ベトナムでの公共工事案件、エネルギー関連案件の実績を重ね、新規受注数増に繋げる
- ・グローバル人材事業への参画

3. Topics

3. Topics ①

マイナンバーコンサルティング



ITbookのマイナンバー対応について

1. 2016年マイナンバー開始以降、内閣官房、総務省をはじめ、30～50の自治体より、マイナンバー関連のコンサルティング業務を受託



競争入札の結果獲得

2. 政府は新型コロナウイルスとの共存対応(withコロナ)を推進
 - ・交付金支給の効率化にはマイナンバーと口座情報の紐づけ
 - ・対面申請の排除にはマイナンバーカードの利活用(Digital First)



制度所管に対して具体的な提案を推進している

3. Topics ①

マイナンバーコンサルティング



今後、見込まれるマイナンバー関連事業

政府はCloud First、Digital Firstを推進しており、
加えて、新型コロナウイルスとの共存対応に伴うIT投資の増加が想定される

ITbookの受注の機会も増加

1. マイナンバーカードの健康保険証としての利用
2. 医療機関、調剤薬局におけるマイナンバーカードの利活用
(診察券のマイナンバーカード化、お薬手帳のマイナンバーカードによる認証)
3. マイナポイント事業に係る自治体支援、地域のキャッシュレス化推進
4. 特定給付金事務でのマイナンバー利用、マイナンバーによる銀行口座、
住民税情報の機関間情報連携
5. Cloud Firstの推進に伴う、情報セキュリティーの見直し

3. Topics ②

地方創生に関する取り組み



地方での専門人材の不足

「問題・課題」

- ・技術導入の遅れ
- ・地域課題発見の遅れ
- ・技術の周知不足 等

デジタル専門人材の派遣

内閣府地方創生推進室

地方創生人材支援制度

29市町

デジタル専門人材派遣制度

19市町



- ・石川県 加賀市
- ・奈良県 田原本町
- ・広島県 安芸太田町

3市町への非常勤派遣を実施

派遣先での地方創生・デジタル化推進を図る

3. Topics ③

システム開発事業 新ブランド「ITbookテクノロジー株式会社」設立

1. ブランド力強化

2. 事業規模拡大

3. ITサービス拡充

4. 管理機能の統一・強化



3. Topics ④

アパレル事業 ECサイトの強化（株式会社三鈴）



システム開発事業

ICT・IoT技術の活用



ECサイトの強化・拡充



1. 周知・ブランド強化
2. 収益安定化

Carina closet

『 Rewde 』 『 shop DADA 』
<https://www.carina-closet.com/>
既存ECサイト

3. Topics ⑤

水陸両用無人運転技術の開発 ～ハッ場スマートモビリティ～

無人運航船プロジェクト
MEGURI
2040

日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

プロジェクト概要

- 自動車の自動運転システムを改造して、水上の自動運航システムを開発
水陸両用自動車に搭載し、ハッ場ダムにて離岸～航行～着岸、遠隔操作等の実証実験を実施
- 本プロジェクトでは、水陸で連続的に自動運航する技術を開発
自動車の自動運転の汎用的なソフトウェアであるAutowareを活用

期待される成果・効果

自動車の自動運転を活用することで船の自動運航技術を安価に開発。陸上と水上の間を連続的に自動運航するシステムを実現。離島の生活利便性向上や地方の観光振興に寄与



コンソーシアムメンバー

ITbookホールディングス（代表）
長野原町（水陸両用車・湖面管理）
埼玉工業大学（自動運転技術）
日本水陸両用車協会（運航）
（株）エイビット（ローカル5G通信）

開発対象技術：水陸で連続的に自動運航する技術

3. Topics ⑥

藤枝市にサテライトオフィスを開設

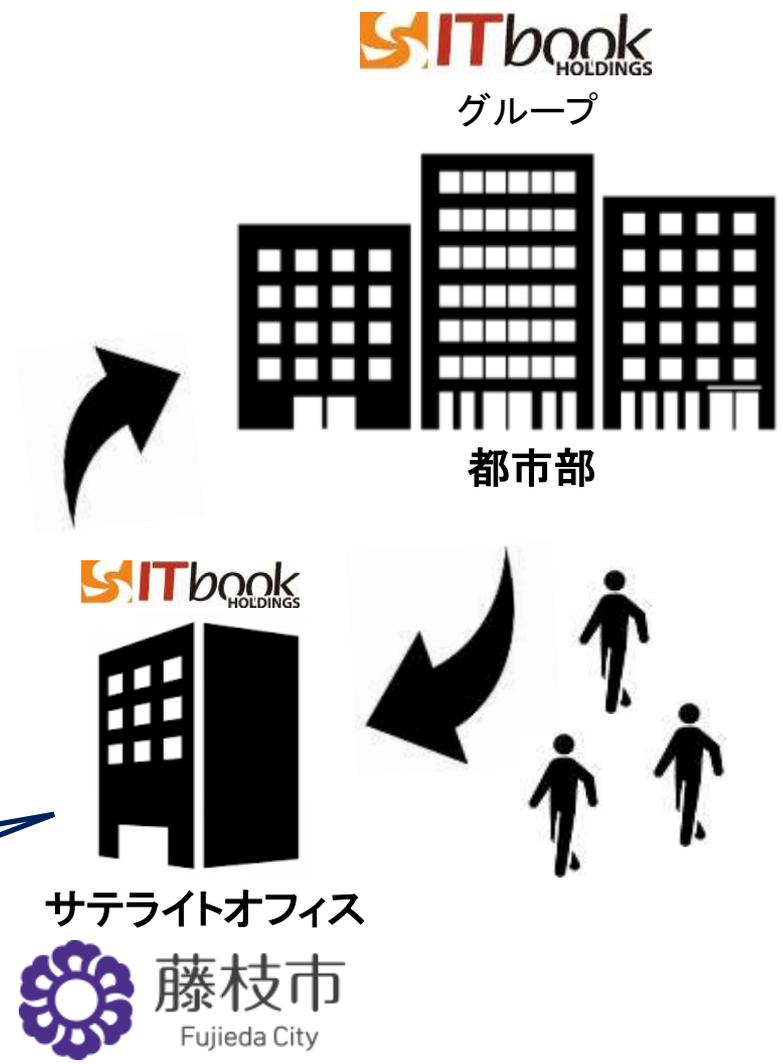
『新しい移住』

都市部集中型によるリスク分散
分散型社会の形成・促進

『地方創生』

- グローバル人材事業
- 地盤調査改良事業
- ニアショア開発
- 運用・保守
- 開発環境運用 等

拠点機能



3. Topics ⑦

新工法「スクリーフリクションパイル工法」



2018年7月の販売開始

2020年3月末に累計施工件数

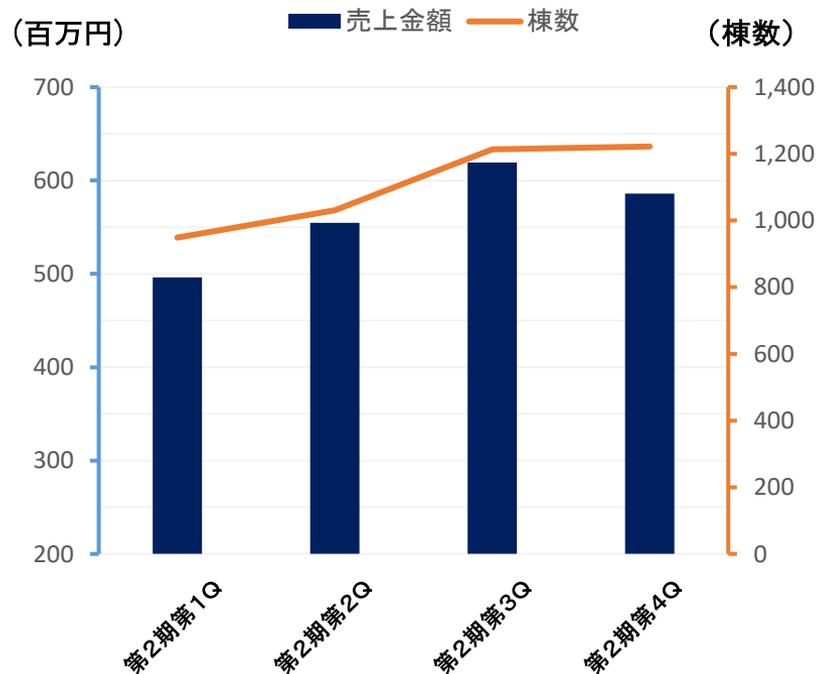
5,500棟を突破！

① 売上好調

② 利益率改善に寄与



今後の見通し



工法協会を主軸に会員企業の増加を目指し、工法の普及および品質増強を目指す。

3. Topics ⑧

地盤調査・改良事業を通じた国際貢献

1. カンボジア円借款事業に関わる地盤調査 ※1
2. ベトナム自然エネルギーによる
発電事業に伴う地盤調査 ※2
3. ベトナム・ティエンザン省における
河川護岸工事
4. ベトナム・ホーチミン市 下水管敷設工事に
伴う地盤調査・改良工事 ※3



※1



※2



※3

継続的なインフラ整備・東南アジア圏での技術展開

2021年3月期の連結業績予想

売上高

 前期比 121.0%

25,673 百万円

営業利益

 前期比 208.2%

324 百万円

経常利益

 前期比 187.9%

264 百万円

親会社株主に帰属
する当期純利益

 前期比 55.8%

46 百万円

- 新型コロナウイルス感染症による影響が、2020年9月末を収束時期とし算出
- 経営統合による共通費用等のコスト削減により利益確保
- グループ内シナジーを含めた各事業セグメントの増収増益

2024年3月期
ITbookホールディングスグループ中期目標

売上高

|

営業利益

500億円

|

25億円

グループスローガン

売上高1,000億円

◆ 配当の内容

	2020年3月期	2021年3月期
基準日	2020年3月31日	2021年3月31日
1株当りの配当金	0円00銭	未定
配当金の総額	0円00銭	未定

◆ 見通し

新型コロナウイルス感染症による当社グループへの通期業績に与える影響が明確でないため、2021年3月期の配当予想は「未定」とさせていただきます。

見通しが立った段階で適時開示にてお知らせさせていただく予定です。

ご清聴ありがとうございました。

IR担当窓口

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。従いまして、将来の事業戦略・業績見通しに関する情報に全面的に依拠して、投資判断を決定することは避けるようお願いします。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

ITbookホールディングス株式会社
管理本部

TEL: 03-6264-8200

Mail: ir@itbook-hd.co.jp



MITbook
HOLDINGS